

9/24 自然教室  
じゃがいもの収穫体験

町内の小学2年生36名が、5月に植えたじゃがいものいも掘りを体験しました。

白(男爵)や紫(シャドークイーン)など6種類の葉の色を観察しながら、収穫期を迎えたじゃがいもをたくさん掘り起こしました。その後“新じゃが”を試食し、地元で作られた農産物の美味しさを確認しました。



9/30 町内視察  
北海道電力京極発電所

町民の方にさらに京極町について理解を深めてもらおうと、町内視察を毎年実施しています。当日はあいにくの天候となりましたが、建設中の水力発電所の視察は関心が高く、150名を超える町民が参加しました。

10/12 振り込め詐欺  
被害防止啓発活動

北海信用金庫京極支店で、振り込め詐欺を想定した防犯訓練を行いました。これは、京極町防犯協会と倶知安警察署が合同で行ったもので、防犯協会の役員が振り込め詐欺でだまされた被害者にふんして、窓口で送金しようとしている場面を想定し、ていねいに用件を聞いたうえで送金先を再度確認するよう要請するなどの対応を実践しました。

倶知安警察署は「被害にあっていない人はだまされたと気づいていないため、とにかく急いでいるとあせったり、振り込む理由を言いたがらない場合が多い。不審点や疑問点を察知し、さまざまな詐欺の手法を頭に入れたうえで対応してほしい」と助言し、窓口で応対した職員からは「おかしいと感じたときにどう対応すればよいか、感じがつかめた。警察から適切な指導が得られて、勉強になった」と話していました。

訓練が終わった後は、北海信用金庫とよいう農協、郵便局の前で振り込め詐欺防止の街頭啓発活動を行い、あわてない対応や家族に相談するなど、だまされないための心がけを呼びかけました。



10/13 後志文学散歩  
「余市をめぐるバスの旅」

後志の文学読書会の一環で、余市町をめぐるバスツアーが行われました。余市は幸田露伴や野口雨情ら明治の作家が訪れたことのあるゆかりの地で、講座の参加者12名がその足跡をめぐりました。ニッカウヰスキー創始者の竹鶴政孝と妻リタも歩いた町並みと、リンゴやブドウの実りや余市川を遡上してくる鮭の群れなど、この季節らしい景色を存分に楽しみました。また、元小樽新聞樺太支局長で余市に造詣の深い市川天涯の展示会が

余市水産博物館で9月末まで行われていたのですが、好意により今回のツアーのために展示を残していただけたため、樺太に思い出のある参加者からは初めて見る貴重な写真資料に感嘆の声があがっていました。



京極中学校文化祭

今年のテーマは『Fly ~飛べ!あの若鷹のように~』

京極中学校の文化祭が、京極中学校で開催されました。

学年ごとに発表された舞台発表や合唱コンクール、壁新聞は思考を凝らしたもののばかりでした。



▲合唱コンクール



▲開祭式



▲2年劇「TEMPER BOX」

▲1年朗読劇「王様の新しい服」



▲3年ミュージカル「魔笛」